

授業科目

地域理学療法学概論

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学
牧田光代		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
<一般目標：G I O> 地域リハビリテーションについて理解を深め、理学療法士の役割や考え方、実践方法およびその基礎になっている思想について学ぶ。 さらに、近年地域リハビリテーションのニーズが高まってきているが、その歴史的背景についても学び、現在のじょうきょうの理解を深める					
<行動目標：S B O> 1. ノーマライゼーション、CBRについてその内容を把握できる。 2. 日本において地域理はの重要性が認識されてきたことの背景を説明できる。 3. 地域リハを支えるシステムとして、関連法規、関連機関の概要を説明できる。 4. 医療モデルと生活モデルの違いを説明できる。 5. ケアマネジメントが何かを説明できる。 6. 医療施設以外の施設の特性と理学療法士の役割を説明できる。 7. バリアフリーについて説明できる。 8. 地域における連携のあり方について理解できる。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO	
				番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	地域理学療法学の歴史的背景			2	講義
2	地域理学療法学の概念、ノーマライゼーション、C B R			1	講義
3	介護保険法（成り立ちと制度）			2、3	講義
4	身体障害者と福祉法			2、3	講義
5	社会資源、医療モデルと生活モデル			4	講義
6	ケアマネジメント、ケアアセスメント			5	講義
7	顔ご老人保健施設と介護老人福祉施設			3、6	講義
8	訪問理学療法			3、6	講義
9	医療施設以外での理学療法士の役割			6	講義
10	地域理学療法と関連諸制度			3	講義
11	連携のあり方			8	講義
12	生活環境の整備（住宅改修、バリアフリー）			7	講義
13	高齢者への理学療法			6	講義
14	地域における身障者及び小児の理学療法			6	講義
【使用図書】		<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格・その他>			
教科書		標準理学療法学：地域理学療法学 牧田光代編 医学書院 4700円 2003年			
参考書		訪問理学療法マニュアル 日本理学療法士協会 日本理学療法士協会 2002年 1500円 ケアマネジメントマニュアル 日本理学療法士協会 日本理学療法士協会 2001年 1500円 作業療法学4：老年期障害 松下起士 協同医書出版 2000年 2700円			
その他の資料		プリント			
【評価方法】			【履修上の留意点】		
小テスト 50%					
期末テスト 50%					